



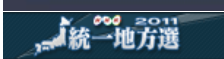
記事検索 検索



各地のニュース

ENGLISH

NHKオンライントップ



自閉症 脳の特定部分活動が低下

3月8日 6時30分 [twitterでつぶやく](#) ※クリックするとNHKサイトを離れます

対人関係をうまく築けない自閉症の人は、相手の表情を認識する脳の特定の部分の活動が低下しているとする研究結果を浜松医科大学などのグループがまとめました。自閉症の早期発見につながる可能性があるとして注目されています。

対人関係をうまく築けない自閉症の障害のある人は、増加傾向にあるとみられていますが、原因はよく分かっていません。浜松医科大学などのグループは、自閉症に特徴的な、話をするとき視線を合わせないという症状に着目し、自閉症とそうでないあわせて40人の脳をPETと呼ばれる装置で撮影して調べました。その結果、自閉症がある場合、相手の表情を認識する脳の「紡錘状回」と呼ばれる部分で「アセチルコリン」という物質が30%ほど減少し、減り方が大きいほど症状が重くなることが分かったということです。アセチルコリンには神経細胞のつなぎ目で刺激を伝える働きがあることから、研究グループでは、相手の表情を認識する脳の活動の低下によって、自閉症の症状が起きていると結論づけています。研究グループの鈴木勝昭准教授は「自閉症の人がなるべく早く支援を受けて社会に適応できるよう、早期に発見できる検査法の開発につなげたい」と話しています。

主要ニュース

- ・小沢氏裁判 立証方針明らかに
- ・ギリシャ国債 3段階格下げ
- ・レアアース代替品 共同開発を
- ・NATO カダフィ政権けん制
- ・宗教最高機関 デモは背信行為
- ・エジプトとチュニジア 新内閣
- ・岐阜 斎藤道三の城下町遺跡か

[NHKニューストップへ](#)

ご意見・お問い合わせ | [NHKにおける個人情報保護について](#) | [放送番組と著作権](#) | [NHK オンライン利用上の注意](#)

Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。